

神尾てるあき てるてるネットワーク	2013年8月1日 第20号
	てるてるネットワーク編集部 東京都江戸川区春江町 3-32-3 TEL/FAX 03-5664-6708



神尾てるあきは、どのような区議会議員を目指すのか？

1. 私が政治家を志した理由

今から遡ること3年程前、私に長男が生まれました。その時の我が子の愛しさは、今でも忘れることはありません。お子さんがいらっしゃる方は、同じ思いを経験されているはずです。そして同時に「親はみんな、我が子が生まれたその瞬間に言いようもない愛しさを感じているはずなのに、なぜ虐待などの悲しい事件が起こるのだろうか？」と疑問に思いました。その背景には、育児ストレス、病気、障害、核家族化、貧困、地域からの孤立など、様々な原因があります。私は「子どもは宝」だと考えています。自分の子どもだけではなく、次世代を担う子ども達を健やかに逞しく育てることこそ、今後の日本を支えていく上で最も大切なことであると感じているからです。人間は歳をとり、いつかは死んでしまいます。だからこそ子孫を残し、命をつないでいくのです。今の景気状況や社会保障制度の問題点も、少子化が解消されればほぼ解決されると言っても過言ではありません。6月5日の厚生労働省発表によると、2012年の合計特殊出生率は1.41人でした。過去最低であった2005年の1.26人から緩やかに上昇はしているものの、人口を維持できる水準といわれている2.07人には、まだまだ及びません。現代社会が子どもを産み育てることが難しい構造になっているのは明らかです。社会のシステムが不十分であるのだとしたら、それは政治の責任でもあると思います。私は、そのような社会構造を打開して、より子どもを産み育てることのしやすい社会をつくりたいと思い、政治家を志しました。私の政治家としての原点は、そこにあります。

2. 区議会議員は、どのようなイメージですか？

みなさんは区議会議員にどのようなイメージをお持ちでしょうか？ 困っている時に問題を解決してくれる人？ 地元の名士といわれている人？ いざという時に口利きしてくれる人？ 自分とは関係ない世界の人？ 選挙の時だけ顔をみせてペコペコしている人？ という感じですか？ 教科書的にいえば、住民の中から選挙によって選ばれた区民の代表であり、区的意思決定機関である区議会を構成する者が区議会議員です。区政の方向を決め、区民の要望や意見を区政に反映させていく役割を担っています。我が国の地方自治体は、いわゆる二元代表制を採っていますので、区議会議員によって構成される議会は、執行機関(区長)とは独立・対等の関係にあります。区長も区議会議員も選挙によって選出され、区民を代表する機関ではありますが、区長が独任制であるのに対して、議会は複数の代表で構成された合議制の機関です。そのため、議会は、それぞれの審議の場に様々な区民の意見を反映させ、課題や論点を明らかにしながら合意形成を図っていくことが求められます。つまり、議会が単に執行機関の政策を追認しているだけの存在となってしまうと、議会の存在意義はなくなります。そうすると「議員の数が多すぎる」「議員報酬が高すぎる」という話になってくるのです。今の江戸川区議会は、そのような状態になっているのではないのでしょうか？

3. 私の目指す区議会議員

私は自身の活動を通して、より多くの方に政治に興味を持っていただきたいと考えています。江戸川区の選挙での投票率が都内でも低いことは、以前本誌で触れました。しかし、投票に行った方も、その後、自分が投票した議員・候補者がどのような活動をしているかチェックしていますか？私は、その点こそが重要であると思っています。つまり、投票行動で有権者としての責任は終わりではなく、その後も活動を追いかけていくことで政治参加をしていくことが必要なのです。そのためには、議員・候補者の側からの正しい情報提供が不可欠です。例えば私は、駅前でのピラ配り・タウンミーティングの開催などで自分の活動の情報提供をしています。その活動をもとに区民の皆様からの多様な意見を聴き、区政に反映させていきたいと考えています。議員や候補者は、選挙で当選することが大前提ですので、どうしても選挙では勝ち残らなければなりません。そのため、自分を応援してくれる方々・団体のために優先的に便宜を図りたいという意識は自然と働きます。私は、そのような考え方は否定はしませんし、それが人情であると思います。しかし、議員が全区民の代表である以上、それだけではいけないと感じています。政策や事業を判断する上で、どのようにするのが江戸川区民のためになるのかを適切に見極めなければなりません。仮に、それが自身を応援してくれている方々の不利益になることがあるとしても、私はその判断過程や判断基準を丁寧に説明して、理解を求めていく努力をします。これまでの政治は、そうした部分が見えなかった・情報提供をしてこなかった点に問題がありました。私は、しがらみのない若い力で区民と共に考えていく区政を目指します。

タウンミーティングのご報告

5月30日に開催したタウンミーティングには、20名の方にご参加をいただきました。今回のタウンミーティングでは、江戸川区地域防災計画、江戸川区平成25年度予算案、成年被後見人の選挙権、憲法96条改正、住民投票制度(小平市を例に)、一之江駅西口のエレベーター設置、地下鉄24時間化、スーパー堤防事業、などが話題にあがりました。今後も定期的に関心してまいりますので、みなさんお気軽にご参加ください。

USTREAM 番組に出演中！

USTREAM 番組『じゃんぐるTV 放送網バラ☆バラばらえていー』にレギュラー出演をさせていただいています。毎週木曜日の夕方17:30頃から大好評放送中です。生放送を観れない方でも、番組ホームページからいつでも番組をご覧いただけます。過去の放送分も掲載していますので、ぜひご覧ください。インターネットで検索！

じゃんぐるTV 放送網

神尾昭央(かみおてるあき) プロフィール

1982年(昭和57年)静岡県西伊豆の土肥町(現在の伊豆市)で生まれる。日本大学三島高等学校卒業。日本大学法学部法律学科(法職課程)卒業。駿河台大学大学院法務研究科(法科大学院)を修了し、法務博士号を取得。東京都議会議員・衆議院議員初鹿明博の秘書として、政治の道を学ぶ。2011年江戸川区議会議員選挙において2021票を獲得するも惜敗。ホームヘルパー2級資格を取得し、(有)アイ介護サービスにて勤務。江戸川区内の各駅にて朝の駅頭活動を継続中。2児の父親。

【神尾てるあき事務所】 〒132-0003 東京都江戸川区春江町3-32-3
TEL/FAX 03-5664-6708 メール info@kamioteruaki.com
ホームページ <http://kamioteruaki.com/> バックナンバーも掲載中です！

